

参考：記入例

共同研究契約書

1. 甲	国立大学法人 東京大学				
2. 乙	文京電機工業株式会社				
3. 研究題目	官能検査を代行するセンサーネットワークの研究				
4. 研究目的	今まで人が行ってきた感覚による製品検査を、ネットワーク上のセンサーで行う技術を開発する。				
5. 研究内容	複数のセンサーをネットワーク接続するためのモデル化を行い、オブジェクト指向型の通信プロトコルを開発する。具体的な応用モデルを試作して、有効性を検証する。				
6. 研究分担	区分	氏名	所属部局・職名	本研究における役割	
	甲	本郷 弥生	情報理工 教授	研究全体の統括と指導	
		駒場 一郎	情報理工 准教授	各種センサーのモデル化	
		白金 柏	情報理工 助教	センサーネットワークのプロトコル開発	
乙	鈴木 千次	技術部 課長	研究計画の作成とスケジュール管理	派遣の有無	
	佐藤 常雄	技術部 係長	ネットワークプロトコルの実装	無	
	齊藤 貞晴	技術部 主任	応用モデルの構築と評価	無	
				有(24.9まで)	
7. 研究スケジュール	23年4月：目標設定・計画 5月～24年3月：プロトコル開発 4月～9月：実装 10月～25年3月：評価				
8. 研究実施場所	工学部4号館 および 文京電機本社				
9. 研究期間	平成23年4月1日 から 平成25年3月31日 まで				
10. 研究経費の負担	区分	研究費（第7条第1項第1号） ※研究支援経費を含む		研究料（第7条第1項第2号）	
	乙	23年度	5,500,000円	23年度 525,000円	
		24年度	2,000,000円	24年度 262,500円	
	合計	7,500,000円		787,500円	
総額	8,287,500円				
11. 施設及び設備の提供	区分	施設の名称	設 備		
			名 称	規 格	数 量
	甲	工学部4号館実験室	ネットワーク試験設備	100Mbps×16	1
乙	本社技術部実験棟	官能検査模擬設備	32種類	1	
		応用モデル用センサー	10～20種類	1	
12. ノウハウの秘匿期間	本共同研究終了日（研究期間が複数年度にわたる場合は各年度末）の翌日から起算して3年間				
13. 秘密保持義務の有効期間	本共同研究終了日（研究期間が複数年度にわたる場合は各年度末）の翌日から起算して3年間				
14. 実施目標期間	知的財産権を出願等した翌日から起算して3年間				

甲と乙は、上記契約項目表記載の共同研究（以下「本共同研究」という。）を実施するにつき、次の各条の通り共同研究契約（以下「本契約」という。）を締結し、本契約の締結を証するため、この契約書2通を作成し、甲、乙それぞれ1通を保管するものとする。

平成23年4月1日

(甲) 東京都文京区本郷7丁目3番1号
 国立大学法人 東京大学 総長 ○○ ○○
 代理人 ○○ ○○

(乙) 東京都文京区西片3丁目2番1号
 文京電機工業株式会社 社長 文京 五郎

参考：記入例の説明

約書

1. 甲	国立大学法人 東京大学	乙：共同研究相手の法人名を記入します。																					
2. 乙	文京電機工業株式会社	共同研究のテーマ名と目的を記入します。																					
3. 研究題目	官能検査を代行するセンサーネットワークの研究	具体的な研究内容と合意できる目標について簡単に記入します。																					
4. 研究内容	<p>研究を分担する人の名前を全て記入します。分担者は研究に対する義務と責任を負います。共同研究内容を知りうる人は全て記入してください。学生など一時的に参加する人は、研究協力者として扱い、別に協議するようにしてください。</p> <p>相手と合意した研究期間とスケジュールの概要を記入します。研究場所は実際に研究を実施する場所です。</p>	<p>具体的製品検査を、ネットワーク上のセンサーに接続するためのモデル化を行い、オブジェクト指向型の通信プロトコルを試作して、有効性を検証する。</p> <p>所属部局・職名</p> <table border="1"> <tr> <td>理工</td> <td>教授</td> <td>研究全体の統括</td> </tr> <tr> <td>報理工</td> <td>准教授</td> <td>各種センサー</td> </tr> <tr> <td>情報理工</td> <td>助教</td> <td>センサーネットワーク</td> </tr> </table> <p>共同研究員の派遣の有無について記入します。派遣有とした場合のみ研究料(一人あたり原則、年525,000円、6ヶ月以内では262,500円とすることができます。)が生じます。</p> <table border="1"> <tr> <td>技術部</td> <td>課長</td> <td>研究計画の作成と実施</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>技術部</td> <td>係長</td> <td>ネットワークプロトコルの実装</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>技術部</td> <td>主任</td> <td>応用モデルの構築と評価</td> <td>有(24.9まで)</td> </tr> </table>	理工	教授	研究全体の統括	報理工	准教授	各種センサー	情報理工	助教	センサーネットワーク	技術部	課長	研究計画の作成と実施	有	技術部	係長	ネットワークプロトコルの実装	無	技術部	主任	応用モデルの構築と評価	有(24.9まで)
理工	教授	研究全体の統括																					
報理工	准教授	各種センサー																					
情報理工	助教	センサーネットワーク																					
技術部	課長	研究計画の作成と実施	有																				
技術部	係長	ネットワークプロトコルの実装	無																				
技術部	主任	応用モデルの構築と評価	有(24.9まで)																				
5. 研究期間	<p>乙の負担額に従って請求書が発行されます。年度をまたがる場合は、年度毎に記入します。</p> <p>平成23年6月～24年3月：プロトコル開発 4月～9月：実装 10月～25年3月：評価</p> <p>文京電機本社 から平成25年3月31日 まで</p>																						
6. 研究分担	白金 柏																						
7. 研究経費の負担	<table border="1"> <tr> <td>区分</td> <td>研究費(第7条第1項第1号) ※研究支援経費含む</td> <td>研究料(第7条第1項第2号)</td> </tr> <tr> <td>甲</td> <td>23年度 5,500,000円</td> <td>23年度 225,000円</td> </tr> <tr> <td>乙</td> <td>24年度 2,000円</td> <td>24年度 262,500円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>7,500円</td> <td>487,500円</td> </tr> </table> <p>受入れる研究員あたり525,000円(6ヶ月以内は262,500円とすることができます。)として合計を記入します。</p>	区分	研究費(第7条第1項第1号) ※研究支援経費含む	研究料(第7条第1項第2号)	甲	23年度 5,500,000円	23年度 225,000円	乙	24年度 2,000円	24年度 262,500円	合計	7,500円	487,500円										
区分	研究費(第7条第1項第1号) ※研究支援経費含む	研究料(第7条第1項第2号)																					
甲	23年度 5,500,000円	23年度 225,000円																					
乙	24年度 2,000円	24年度 262,500円																					
合計	7,500円	487,500円																					
8. 施設及び設備の提供	<table border="1"> <tr> <td>区分</td> <td>施設の名称</td> <td>設備</td> <td>数量</td> </tr> <tr> <td>甲</td> <td>工学部4号館実験室</td> <td>ネットワーク試験設備</td> <td>100Mbps×16</td> </tr> <tr> <td>乙</td> <td>本社技術部実験棟</td> <td>官能検査模擬設備</td> <td>32種類</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>応用モデル用センサー</td> <td>10～20種類</td> </tr> </table> <p>研究のために相互が提供する施設や設備を記入します。研究終了後は原状に戻して返却するのが原則です。</p>	区分	施設の名称	設備	数量	甲	工学部4号館実験室	ネットワーク試験設備	100Mbps×16	乙	本社技術部実験棟	官能検査模擬設備	32種類			応用モデル用センサー	10～20種類						
区分	施設の名称	設備	数量																				
甲	工学部4号館実験室	ネットワーク試験設備	100Mbps×16																				
乙	本社技術部実験棟	官能検査模擬設備	32種類																				
		応用モデル用センサー	10～20種類																				
9. ノウハウの秘匿期間	本共同研究終了日(研究期間が複数年度にわたる場合は各年度末)の翌日から起算して3年間																						
10. 秘密保持義務の有効期間	本共同研究終了日(研究期間が複数年度にわたる場合は各年度末)の翌日から起算して3年間																						
11. 実施目標期間	知的財産権を出願等した翌日から起算して3年間																						

甲と乙は、上記契約項目表記載の共同研究(以下「本共同研究」という。)を実施するにつき、次の各条の通り共同研究契約(以下「本契約」という。)を締結し、本契約の締結を証するため、この契約書2通を作成し、甲、乙それぞれ1通を保管するものとする。

平成23年4月1日

(甲) 東京都文京区本郷7丁目3番1号

国立大学法人 東京大学 総長 ○○ ○○
代理人 ○○ ○○

(乙) 東京都文京区西片3丁目2番1号

文京電機工業株式会社 社長 文京 太郎

法人が登記されている住所を記入します。

契約者は、必ずしも法人の長である必要はなく、本契約に関して契約締結権限を持つ方で差し支えありません。